

1) パンダは一人の子で、一人の子が一人だと話す。  
2) パンダの顔に玉を置き、一人の子のパンダにひとり  
合つたはどれだろうと、品物ごとに玉1個を1対1対応  
させ、あつたものが1だという手続きを繰り返す。  
3) 見るだけで分かって、玉の操作をさせること。

a) 玉が計数の仲立ちをする。すなわち推移律 A=B=C なら  
A=C の「B」の働きを玉が果たす。  
b) 数の理解の基本的な原理である 1対1 対応と推移律をフ  
リミテッドな形で体験する。この作業が重要。  
c) 和数詞「ひとつ」の了解。

特定用具: 不要  
Date:



たまをつかって  
あうのをさがそう。



ひとりっこ パンダは  
なんでも一つ。  
ぴったりは どれだ？


